

はじめに

屋久島には、宮之浦岳(1,936m)をはじめとする険しい山々が連なっています。洋上アルプスとも呼ばれ、九州本土最高峰(中岳:くじゅう連山)より高い山が8座もあります。そして、多量の降雨とこの標高差が、樹齢数千年の屋久杉の森や、亜熱帯から亜寒帯までの植物の垂直分布を形成しています。

屋久島は、1993年12月、わが国初めての世界自然遺産に登録されました。これは、屋久島の素晴らしい自然が世界の宝であると認められたと同時に、今後私たち全員が、人類共通の財産として末永く後世に守り伝えていくという大きな責任を負ったことを意味しています。

登山コース・タイム(目安)

■縄文杉コース(往復8~10時間)

安房- (車5分) - 屋久杉自然館前- [3~11月荒川登山バス or タクシー or 貸切バス] (35分) - 荒川登山口へ
荒川登山口 - (上り下り50分) - 小杉谷小学校跡 - (上り下り40分) - 楠川分かれ - (上り下り70分) - 大株歩道入口 - (上り30分下り25分) - ウィルソン株 - (上り60分下り50分) - 大王杉(上り30分下り25分) - 縄文杉

■宮之浦岳コース(往復9~11時間)

安房- (車65分) - 淀川登山口へ
淀川登山口 - (上り下り50分) - 淀川小屋 - (上り110分下り90分) - 花之江河 - (上り下り20分) - 黒味分かれ - (上り140分下り130分) - 宮之浦岳

宿泊は避難小屋で

キャンプ(野営)は原則禁止です。宿泊は、避難小屋およびテント泊の場合は避難小屋周辺のテント場を利用してください。小屋はいずれも無料ですが、無人小屋のため、炊事場や電話等の設備はありません。トイレや水場は各避難小屋周辺にあります。マナーを守るとともに、混雑時は、利用者同士で声を掛け合い譲り合ひましょう。

避難小屋のトイレのし尿は人力搬出しています。負担軽減のため、携帯トイレの携行、山岳部環境保全協力金にご協力ください。多くの方が利用する施設です。小屋やトイレ等の利用の前には、感染症対策として、持参の除菌シートなどで手指消毒をお願いいたします。

名称	収容人数	建築構造	築造年	標高
白谷小屋	40	鉄筋コンクリート	S54	825m
高塚小屋	20	鉄骨紙管造	H25	1330m
新高塚小屋	40	木造	H3	1460m
鹿之沢小屋	20	石造	S37	1550m
淀川小屋	40	木造	S60	1380m
石塚小屋	14	ブロック造	S46	1600m

*焚火は禁止。残飯やゴミは必ず持ち帰ってください。
*ネズミが出ることがあります。食料は出しっぱなしにせず、就寝時は必ずザック等におさめておきましょう。

緊急時の連絡先・登山届

機関名	レスキュー要請
屋久島警察署	0997-46-2110
屋久島消防	北分遣所: 0997-42-0119 南分遣所: 0997-47-2125

登山届は、下記の場所にあります。

屋久島警察署(安房)、島内の交番 屋久島町役場本庁(小瀬田)、役場支所(宮之浦、安房、尾之間) 屋久島観光協会案内所(宮之浦、小瀬田、安房) 船内、屋久島環境文化村センター(宮之浦)、世界自然遺産センター(安房)、各登山口(荒川、淀川、白谷雲水峡)

記入後は、

①下山後に宿泊する宿

②警察署

③その他(登山口のポスト等)

に提出しましょう。(警察への下山連絡は不要です)

*遭難の疑いなど、有事の際に登山届が重要となります。

そのため、提出先の優先順位は①→③でお考え下さい。

緊急連絡先には、登山行程の予定を伝えておきましょう。

*スマホアプリ「コンパス」の使用もお勧めです。 →



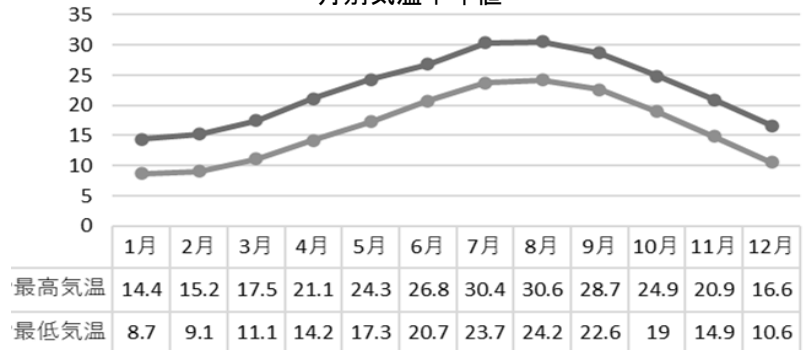
登山上の注意

◆気象

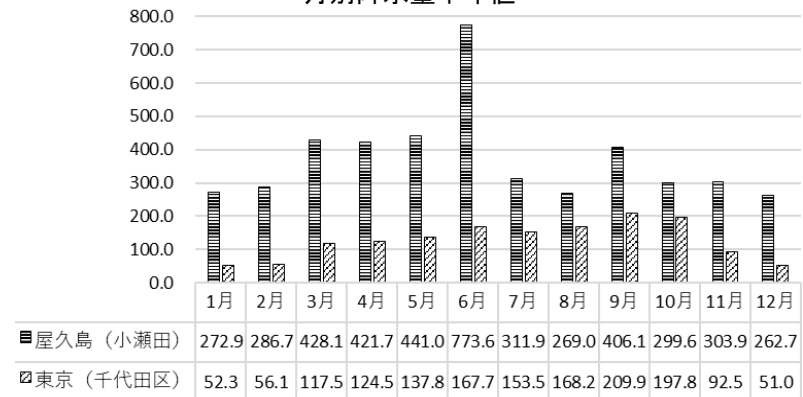
降雨量は、平野部では年間3,000~4,000mm、山間部では8,000~10,000mmにも達します。春先と梅雨時期が特に多いですが、毎日降るわけではなく、一度に降る量が多くなります。

冬季は標高600m付近(白谷雲水峡入口あたりの標高)から積雪が見られます。雪は湿性のベタ雪で濡れやすく、時間によっては凍結します。ゴムスパイク、チェーンスパイクなどの装備は必須です。山岳部では氷点下0~15℃と気温がさらに下がり、森林限界を超えると強風が吹きつけることもありますので、冬山登山の経験およびアイゼンやワカン、ピッケルなどの装備が必要となります。

月別気温平年値



月別降水量平年値



◆登山道

・地図にある「歩道」とは、「登山道」のことです。
・登山道および道しるべの整備はされていますが、以前利用されていた登山道で現在は廃道になっている部分もありますので、ご注意ください。また、積雪や濃霧により道を見失うこともあります。万が一道に迷ったら、尾根に上るほうが登山道に復帰しやすく安全です。屋久島には滝が多いので、沢に向かって下りていくと行き詰り、鉄砲水に巻き込まれるなどの危険があります。

◆装備

・長ズボン(ジーンズ不可。動きやすく、乾きやすいもの)
・長袖の上着(縄文杉付近の気温は、麓より約10℃低くなります)
・冬季は防寒着・ニット帽・スパッツも必要
・登山靴(縄文杉、宮之浦岳等のロングトレイル)
・冬季は状況により、チェーンスパイク、アイゼンなど。
*観光協会等で最新の情報を得て準備しましょう。
・携帯トイレ(特に宮之浦岳および縦走ルートでは必須)
・レインウェア(上下セパレートタイプ) ・手袋
・弁当、非常食(行動食)、水筒
*特に夏季はスポーツドリンクやクエン酸、ブドウ糖など、手軽に補給できるものを携行しましょう。
・携帯電話、ヘッドライト(懐中電灯)、タオル、地形図など
*山中は電波の届かない場所が多いため、携帯電話は機内モードにしてバッテリーの消耗を抑えることをお勧めします

◆その他

・ゴミは必ず持ち帰りましょう。
・山の水を汚さないよう、特に水場周辺での配慮をお願いします。
・猿や鹿に食べ物を与えないでください。貴重な生態系に重大な悪影響を与える恐れがあるため、山に動物を連れて行かないでください。(介助犬・盲導犬は入山可能です)
・国立公園内での動植物、土石等の採取は禁止されています。
・自然保護のため、登山道から外れないようにしましょう。また、縄文杉の根元は踏みつけられ弱っているため、展望デッキから出ないようにお願いします。
・用便は必ずトイレで行うか、携帯トイレを使用してください。

◆山岳部環境保全協力金にご協力を

屋久島の美しい自然環境と清らかな水環境を、人類共通の財産として末永く受け継ぎ、登山者のみなさまに安心で安全な自然体験を提供するための協力金です。(詳細は別紙)

*日帰り入山の場合1000円 山中宿泊予定の入山の場合2000円
納入場所: 屋久島観光協会案内所(宮之浦、空港、安房)・荒川登山バス乗降所